

次世代リーダー必須バーチャルワークスタイルで
自宅から世界に挑戦しよう

オンライン海外インターン

- 自宅から新興国～先進国、スタートアップから大企業支社、非営利組織にジョイン
- パートタイムで挑戦できるので、授業やバイトと両立できる
- 語学だけ、座学だけでなく実践を通して成長できる!

FAQ

Q. 未経験でも参加できますか？

A. もちろんです。これまでプロジェクトに挑戦した人の中には、高校生でビジネス経験なし、という方もいらっしゃいました。就業経験、海外経験よりも重要視しているのは、あなたのやる気と想いです。

Q. 学校と並行して参加することは可能ですか？

A. ご参加頂けます。平日の夜や土日のみで参加可能など、多くのプロジェクトが参加頻度に柔軟性があります。

Q. 参加するに当たって英語力はどれくらい必要ですか？

A. 求められる英語力は各企業様によって異なります。基本的には問わないことも多いです。し、語学が使いたい場合は語学を使った業務がある企業もあります。

Q. 時差がある場合、どのようにして参加できますか？

A. タイムゾーンが異なることもオンラインプロジェクトの特徴です。受入企業様と個別に調整して、時差等を考慮した、ミーティングや業務時間を設定が可能です。是非時差を利用してたくさんのプロジェクトを生み出しましょう。

インターン先を一部紹介！

- カンボジアの商社でバリューチェーンを1から創るプロジェクト
- アフリカ布を使ったブランドを立ち上げ、セネガルの社会問題に挑むプロジェクト
- 環境エキスパートと共にサステナブルな社会を作る日本での新規事業立ち上げプロジェクト
- ベトナムでビジネス系Webメディアを立ち上げるプロジェクト
- タイでSNSマーケティングを普及・促進させるプロジェクト
- ミャンマーで食・美容など暮らしを支えるスーパーアプリの代表直下プロジェクト
- オンラインでお寺体験を伝える！お寺を身近にするプロジェクト
- インドで無農薬野菜のデリバリーで人々を笑顔にするプロジェクト

より詳細なインターンの要件を知りたい人は▶



LINEで
気軽に相談
はこちら

Voice of interns

オンラインインターン体験記

カンボジアの英語環境で自分を磨く宮崎県の高校生

もともと学校の地域探究活動で、1人で外国人向けツアーを企画していました。しかし、まだ一人前に企画を動かしたことがなかった私は、企画を実現まで持っていく難しさを地域探究活動を通して痛感しました。そこで、自分に足りないところを社会で活躍している大人のもとで学ぶことで、足りないところを見つけ、解消することができるのではないか、と考えました。そして私は地域探究活動を始める前から英語を使って何かしたい！という思いがあったので、"自分に足りない点を解消でき""英語を使える場"としてオンラインインターンに挑戦しました。

カンボジアの日系企業で、業の方へのカタログ提供や商品の値付け、情報サイトを更新したりしています。カンボジア人スタッフとのミーティングは英語で行います。オンライン上で働くメリットは、実際に現地に行かなくても海外の企業の仕事に携わることができ、そして学校では出会うことができない様々なバックグラウンドを持つ大人たちと出会い、一緒に活動することができることだと思います。

オンラインでインドの貧困問題解決に取り組む高校生

インドでソーシャルビジネスを行う会社でWebマーケティングと新規事業に関する仕事をしています。もともと文部科学省が提供するトビタテ！留学JAPANでインドへ渡航し、現地でソーシャルビジネスをやっている会社にインターンシップをする予定でしたがコロナで中止。現地渡航の準備をしているうちに、カオスで成長が目覚ましいインドでソーシャルビジネスを行なっている会社でオンラインプロジェクトに取り組みたいと考えていたので良い機会でした。

日本とインドでは文化や環境が違うこともあって、日本でやってしまったらグレーな方法で販売をしていたりするインドの会社を時々見かけることもあり、日本との感覚の違いをオンラインプロジェクトを通して毎日発見することができるのでとても面白いです。

オンラインプロジェクトは、東京でもなく、インドでもなく、自宅から海外の企業にオンライン上でインターンに挑戦をすることができるため、自分の時間をより有意義に使うことができ、そしてオンラインプロジェクトを始めたことで時間対効果を考えられるようになり、以前より効率的に物事を行えるようになりました。

海外渡航断念から一転、 オンラインでアフリカと日本を繋ぐインターンに挑戦

9月から海外の大学に進学し、大学では国際開発学という学問を学びます。高校を卒業した3月から大学に進学をするまでの期間を自分の成長につながる有意義な活動に充てたいと考えインターンに参加しました。インターン先の企業の社長の想いに惹かれて、アフリカ・トーゴの企業を選びました。この企業のプロジェクト内容は自分のためではなく、世界の裏側に目を向け、自国の伝統を守り、そして途上国の人達や商品を買ってくださるお客様を含む全ての人に笑顔を届けるために活動をしています。

オンラインインターンシップは、時間の使い方を自分なりに工夫さえすればバイトや勉強、ボランティア活動など、インターンシップ以外のことにも時間を割くことができ、時間をより有意義に使うことができる点がオンラインで働くメリットだと思います。与えられた機会をどう活かし、自分の成長につなげるかは環境よりも与えられた環境でいかに自分らしく足掻き、結果を残せるかという自分次第だと思います！

Voice of interns

オンラインインターン体験記



ケニアのアフリカ布を使ったアパレル系企業での インターンに挑戦する大学3年生

将来どこかのタイミングでアパレル系企業の立ち上げ、またはビジョンに共感したアパレルブランドで働くという夢があり、アパレル系の企業でインターンをしようと思っていました。

オンライン海外インターンとして主に2つのことに取り組んでいます。

1つは商品開発。具体的には、夏に向けて新商品の開発や、男子インターン生だからこそ出せる発想力で今まで数が多くなかった男性向けの商品などのアイデア出しをしています。

そしてもう1つは、アフリカ布の魅力をより多くの日本人に知ってもらい、そのアフリカ布を纏った全ての人たちが自分に自信を持ち、キラキラ輝いてもらうためにアフリカ布の魅力を伝えるオンラインイベントやワークショップの企画と運営をしています。

オフラインは、基本的に勤務時間が毎日決まっていて、なかなか学生生活との両立を図ることは難しい一方、オンライン海外インターンは、週で決められた時間働くことができ、隙間時間に取り組むことができます。フレキシブルに働くことができ、学生生活との両立も図りやすいです。

フルタイムでインターンに取り組む日は、9時から18時まで業務をします。

学校の授業やバイトなどがある日は、9時から13時までインターンに取り組み、午後は大学の授業を受けたり、アルバイトをしたりして過ごしています。

海外インターン渡航を断念!そこからオンライン でのインターンに切り替えて急成長する大学3年生

カンボジアの商社に、週3日11時~20時(カンボジアの時差に合わせています)でインターンしています。日本の商品を海外に広めること、新規事業立ち上げに関われる事業内容に惹かれて参加を決めました。

1~2週間は日本商品のオンラインショップの立ち上げに関わる仕事や社員さんの営業商談にオンラインで同行しましたが、これが本当に自分がやりたいことなのか悩むことも。代表と一度話してみたい!と思い、自分で代表にアポを取り、いろいろ思いをぶつけてみました。

受け入れ先は、提案したら何でもやらせてくれる環境で、会社のwebメディアのリーダーを任されることになりました。それからは、メディアリーダーとして、他のインターンメンバーに協力してもらいながら、良い記事を書けるように、またリーダーとして結果を出せるように取り組んでいます。

業務をする上で、常にどう進めばいいのか、どうればいいのか迷っています(笑)それでも前に進まないといけないので、日々試行錯誤。

自分の中では、信頼関係をどう作るのかが一番大事だと思っていて、そのため、当たり前のことかもしれないけど、「即レス」をすることを心がけています。

人が引いたレールを歩くのではなく、自分がレールを引いていく」そんな存在になりたいと思っています。